

# インランドポートによる 物流の効率化と地域の活性化

栃木県佐野市

<http://www.city.sano.lg.jp/index.html>

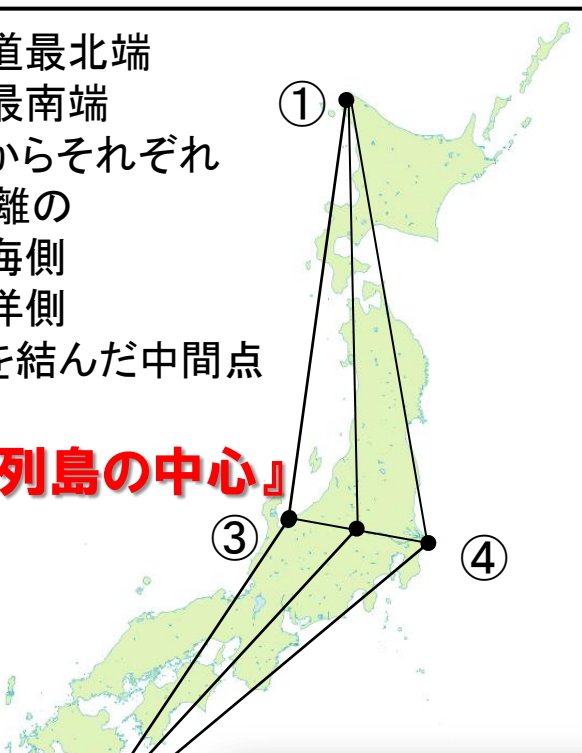




# 佐野市とは・・・

- ①: 北海道最北端
- ②: 九州最南端
- ①と②からそれぞれ  
が同距離の
- ③: 日本海側
- ④: 太平洋側
- ③と④を結んだ中間点

『日本列島の中心』



- 佐野市は平成17年2月28日  
1市2町(佐野市、田沼町、葛生町)が合併して誕生
- 面積 356.07km<sup>2</sup> ... 栃木県内第6位
- 人口 122,141人 ... 栃木県内第5位
- 産業 伝統的な石灰・繊維・鋳物工業中心  
⇒ プラスティック製品製造業、機械・食品へ推移
- 農業 基幹作物: 米、 代表作物: いちご、かき菜、桃、梨



## まちづくりの基本方針

第1次佐野市総合計画(平成19年度～29年度)

・将来像「育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」

・後期基本計画(平成26年度～29年度)

1) 観光立市によるまちづくりの推進(住んでよし、訪れてよしの「佐野」)

2) スポーツ立市によるまちづくりの推進

3) 都市ブランドによるまちづくりの推進

4) 産業振興によるまちづくりの推進

・インランドポートを活用した総合物流拠点開発整備の推進

(港湾物流の効率化とCO2の削減、国際コンテナ戦略港湾「京浜港」のバックアップ機能と災害時における代替機能)

※平成25年度 国家戦略特区提案事業

・産業団地の造成と企業誘致の推進



# 交流拠点都市の実現に向けて

2つの高速道路と3つのIC 北関東随一の交通の要衝

産業団地



市北部地区の「物による交流拠点」の構築が必要！！

広域からの物の交流

佐野市

商業地域

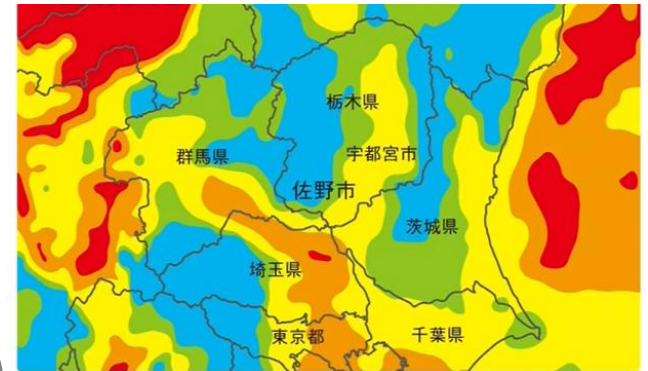


広域からの人の交流

市南部地区にはアウトレットやイオンを中心とした「人による交流拠点」が形成

温暖な気候  
地震・風水害・雪害に強い地盤

出流原PA周辺総合  
物流開発整備の  
事業方針決定



関東の「地震基盤」の深さ 浅い [blue to red] 深い

「全国を概観した地震動予測図2010年版」の基礎データ ((独)防災科学研究所)調べ 3



# 「インランドポート」の実現に向けた経緯

年度	国	市	関係機関
H17		岡部佐野市長がマニフェストの中で「 <b>佐野内陸コンテナターミナル構想の支援</b> 」を掲げ当選	
H20	国土交通省 交通政策審議会 港湾分科会より答申が出される。その中で、初めて「 <b>インランドポート</b> 」の概念が示される		
H22	国際コンテナ戦略港湾を選定（京浜港）	佐野市内陸型コンテナターミナル研究会を発足（H23年度までの2年間） インランドポートの機能と役割や整備構想について検討し、報告書を取り纏める。	栃木県商工会議所議員大会提言要望事項の中で、 <b>佐野内陸コンテナターミナル構想を含めた国際物流戦略の展開を図ることに ついて採択</b> →県に提出
H23		候補地の選定や事業化計画について検討し、構想書を取り纏める。	栃木県商工会議所議員大会提言要望事項の中で、 <b>インランドポートの実現に向けて支援・協力について採択</b> →県に提出
H24		国土交通省の「先導的官民連携支援事業」に採択 佐野インランドポート事業計画調査検討委員会を発足 需要推計や事業化に向けた検討、インランドポートを核とした近隣民間施設との連携策について検討し、報告書を取り纏める。	栃木県商工会議所議員大会提言要望事項の中で、 <b>栃木県に対し佐野インランドポート構想の実現に向けて研究会の運営支援並びに構想の実現に向けた活動に対する支援の強化について採択</b> →県に提出
H25	・国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会中間とりまとめ ・国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会最終とりまとめ	機運醸成活動として、市広報へインランドポート構想について掲載し、市民への周知を図る。  近隣荷主企業へのアンケート調査や国・県とインランドポートの整備に向けた調整を図る。	栃木県商工会議所議員大会提言要望事項の中で、 <b>栃木県に対し佐野インランドポート構想の実現に向けた支援の強化について採択</b> →県に提出
H26	港湾運営会社への国からの出資について検討	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針を決定し、（仮称）佐野インランドポートを佐野田沼インター産業団地内に整備することとする。  また、出流原PA周辺に、インランドポートの拡張にも対応できる物流を中心としながらも製造業の進出も視野に入れた産業団地の造成を図ることとする。	茨城・栃木・群馬三県商工会議所交流会 提言要望事項（案）の中で、 <b>栃木県に対し佐野インランドポート構想の実現に向けた活動に対する支援の強化について採択</b>



# 佐野市内陸型コンテナターミナル研究会の発足

・平成22年 5月

佐野市内陸型コンテナターミナル研究会を発足。（2年にわたり研究を行う）

委員長：国立大学法人筑波大学 岡本直久 准教授

委員：国土交通省関東地方整備局 港湾空港部港湾物流企画室長

国土交通省関東運輸局 交通環境部物流課長

栃木県総合政策部 地域振興課長、栃木県産業労働観光部 産業政策課 企業立地班長

栃木県中小企業団体中央会会長、佐野商工会議所会頭、佐野農業協同組合代表理事組合長

佐野内陸コンテナターミナル研究会会長、佐野内陸コンテナターミナル研究会専門委員

佐野市副市長、佐野市総合政策部長

オブザーバー：佐野市議会議長、佐野市議会副議長

京浜港関係者（東京都港湾局、川崎市港湾局、横浜市港湾局）

検討内容：佐野インランドポート整備構想や利用ニーズの検討、今後の事業化詳細検討方法の提案等

・平成23年 4月

平成22年度「佐野市内陸型コンテナターミナル研究会報告書」が提出される。

平成23年度検討内容：基本方針の作成、候補地の選定、佐野インランドポートの機能や需要、事業化計画の検討等

佐野インランドポートを活用したラウンドユースの効果の検証

・平成24年 2月 「佐野インランドポート構想書」が提出される。



# 佐野インランドポート事業計画調査検討委員会の発足

- ・平成24年5月 国土交通省の平成24年度「先導的官民連携支援事業」に採択される。
- ・平成24年7月 佐野インランドポート事業計画調査検討委員会を発足する。  
委員長：国立大学法人筑波大学 岡本直久 准教授  
委員：国立大学法人宇都宮大学 阪田和哉 講師  
国土交通省国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾計画研究室長  
国土交通省関東地方整備局 港湾空港部長  
国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所長  
国土交通省関東運輸局 交通環境部長  
栃木県総合政策部長  
栃木県産業労働観光部長  
佐野市副市長  
佐野市総合政策部長  
佐野市都市建設部次長  
ワザバー：京浜港関係者（東京都港湾局、川崎市港湾局、横浜市港湾局）  
検討内容：Ⅰ 整備計画の立案  
Ⅱ 佐野インランドポートを核とした近隣民間施設との連役  
Ⅲ 佐野インランドポートを核とした産業形成  
Ⅳ 事業化に向けた検討  
需要推計や施設規模、施設配置計画について検討を行った。  
インランドポートを核とした産業形成の在り方や、  
近隣民間施設との連携方策について検討を行った。



# 「佐野インランドポート整備」による効果

施設を一般開放する事により、国際貿易・物流について学ぶことが出来る。

コンテナマッチングによる空コンテナ輸送の削減により、**輸送コストの削減、環境負荷の軽減、港頭地区の渋滞の緩和**が図れる。

## 佐野インランドポート整備による効果

自社の紹介をすることにより、国際競争力をPRできる。

災害時に京浜港等の港湾機能が低下した際には、佐野インランドポートがバンプール機能、他港への**代替輸送ルート**を補完し、**安定した輸送機能(BCP)**の確保が可能。

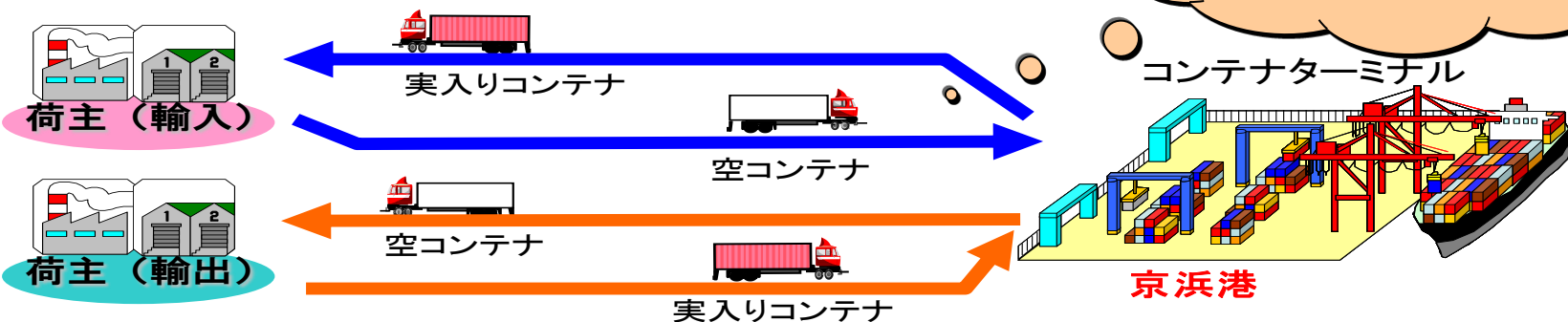
佐野インランドポート事業計画等調査報告書より



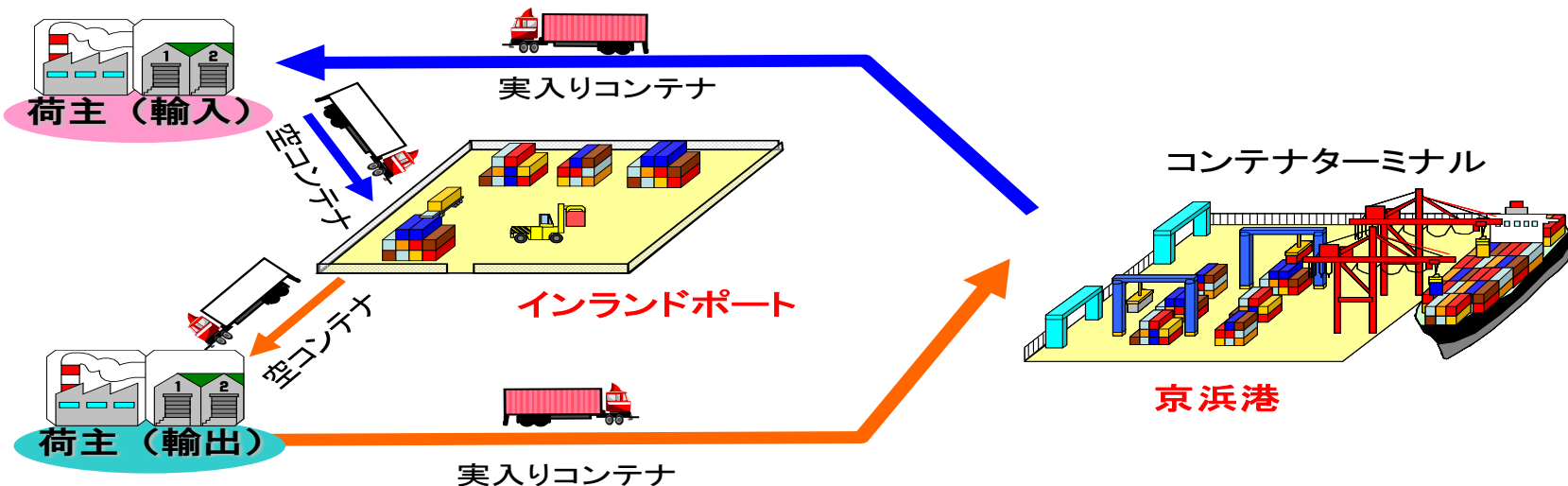
# 研究会・検討会における検討結果

## 「インランドポート」を活用した物流の効率化が必要

### ■現状のコンテナ輸送(港湾地区～荷主間の往復輸送)



### ■インランドポートを活用したコンテナ輸送(コンテナマッチング)





# 「コンテナマッチング」による効果

## ■現 状

### 内陸部荷主～京浜港間の空コンテナ輸送の発生

- 輸送コスト大、環境負荷大
- コンテナトレーラーの流入による京浜港の渋滞悪化

【輸送距離】 東京港CY⇔荷主間の往復輸送距離200km

【輸送時間】 佐野市内から東京港CYまで往復約6時間

【CY待機時間】 コンテナ取引・搬入(4回)約6時間



### インランドポートの活用による空コンテナ輸送の効率化

- 輸送コスト削減、環境負荷軽減
- 京浜港の渋滞軽減

【輸送距離】 佐野インランドポート→荷主→東京港CYまで約120km

【輸送時間】 佐野市から東京港CYまで約3.5時間

【CY待機時間】 コンテナ取引・搬入(2回)約3時間



港頭地区の渋滞状況

- ・荷主への効果としては、空コンテナ輸送の削減により輸送距離の短縮が図れ、輸送料金の低廉化が見込め競争力の強化に繋がる。
- ・陸上輸送業者への効果としては、京浜港の渋滞による待ち時間の解消により少ない台数で効率的な輸送が可能となる。



# 出流原PA周辺総合物流開発整備



出流原PA周辺

常陸那珂港区

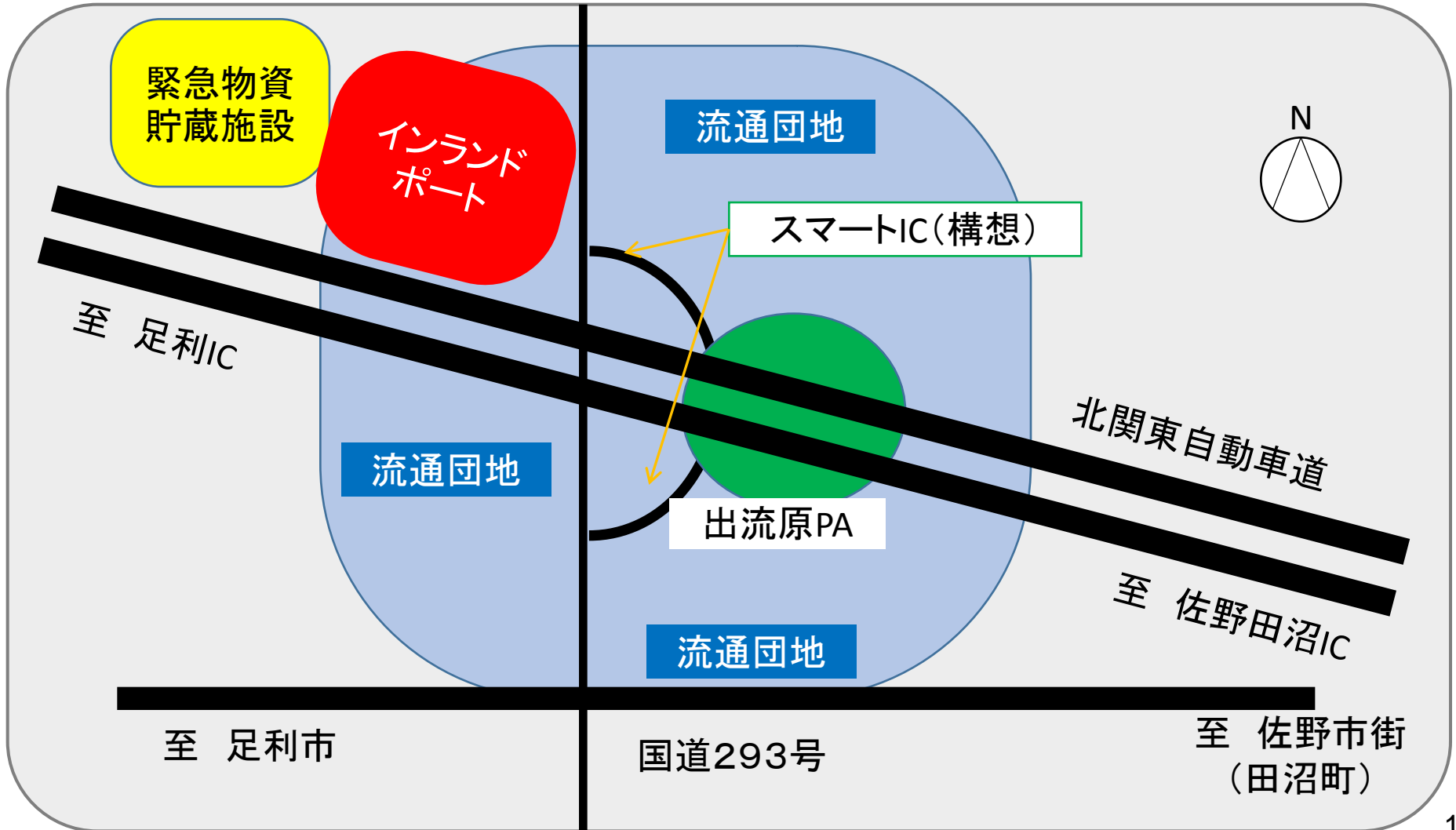
京浜港

- 最寄IC、主要な港へのアクセス
- ・北関東自動車道 佐野田沼ICまで約2km
  - ・東北自動車道 佐野藤岡ICまで約11km
  - ・東京港まで約100km
  - ・横浜港まで約130km
  - ・常陸那珂港区まで約110km



# 佐野インランドポートを核とした総合物流拠点 イメージ図

平成25年度佐野市提出 国家戦略特区提案書より  
佐野IPを核とした総合物流拠点と輸出米の集積地の土地利用イメージを加工





# 「(仮称)佐野インランドポート」の整備計画

## 《第1段階》

### (仮称)佐野インランドポートの整備

港湾物流の中心として機能させながら、物流に関連する企業及び輸出入を取り扱う企業の誘致を進める。

#### (仮称)佐野インランドポート整備事業

- 1) 事業主体 佐野市
- 2) 運営手法 指定管理者制度による管理運営
- 3) 事業費 約8億円
- 4) 事業地 佐野田沼インター産業団地内
- 5) 事業面積 1.1ha



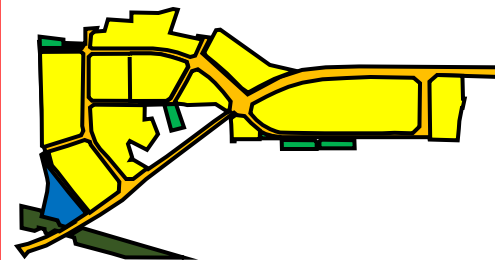
### 運営・事業内容

【運営】24時間対応ID管理ゲート、コンテナヘッド待機・夜間仮眠用駐車場、ウェブカメラ付き利用可能コンテナ置き場等を検討中

【事業】コンテナの保管、積卸し、バン・デバンニング、倉庫業務(荷捌き、梱包)、コンテナ洗浄・メンテナンス、リーファーコンテナの保管、コンテナマッチング等を検討中

### 整備スケジュール(案)

費目・施設	H27	H28	H29
基本・詳細設計	→		
舗装等工事等		→	
倉庫等工事			→
荷役機械等購入			→



佐野田沼インター産業団地  
総面積 17.9ha



# 最後に・・・



ご清聴ありがとうございました



佐野市ブランドキャラクター  
「ゆのまる」